

「子育てサポート企業」認定　くるみんマーク取得

「子育てサポート企業」とは次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画（行動計画）を策定・実施し、計画に定めた目標を達成した場合等に、一定基準を満たした事業主に対し、認定基準に基づき、厚生労働省（都道府県労働局長に委任）が認定をします。認定された企業は、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を使用することで、子育てサポート企業であることを内外にアピールすることができます。山口県内では、8社10件が認定されています。

この度、医療法人社団　青藍会も行動計画を策定し2年間の計画期間の中で目標を達成し認定基準を満たし「子育てサポート企業」と認定されました。

当法人の職員（男性75名、女性155名）が、平成23年4月1日から平成25年4月30日の計画期間の間に、男性職員1名と期間中に産んだ女性職員8名全員が育児休業を取得しました。病児保育を併設した院内保育所「保育園　ハートアイランド山口」には、職員だけでなく地域の方々も利用しています。

当法人は、女性職員が非常に多い職場で、女性が出産しても働き続ける事ができるよう育児休業以外にも、勤務時間の短縮など、サポートしてきました。

このような取組みが認められ「子育てサポート企業」と認定され、6月13日、山口労働局において、山口労働局　山口晃局長より当法人　阿武義人理事長に認定通知書が交付されました。

医療・介護の現場では、人員不足が深刻な問題となっています。出産を期に仕事を辞められる方が多くいます。そのような中で、雇用環境の整備に取り組み、多くの職員が継続して働ける職場環境を目指してきました。

青藍会は、これまで以上に職員が働きやすい職場であるよう職場環境を整えて参ります。



平成25年6月14日　山口新聞、中国新聞掲載